



Speed

H-UV印刷機

速乾

UV照射による硬化で、すぐに後工程にとりかかれます。

特殊印刷

厚紙やクリアファイルなども印刷できます。

ノンパウダー

汚れや後加工でのトラブルの心配がありません。

H-UV印刷機 LITHRONE A37 A全4色機 1h13,000通し

速く、かつ美しく。

従来の油性インキを使った印刷では、印刷後、乾くまでに数時間を要する上、刷りたての印刷物が裏うつりしたりしないよう、表面にパウダーをかけます。しかしこのパウダーが原因で、後加工に不具合が起きたり、工場が粉だらけになったりしていました。

一方、UVインキは紫外線を照射することで、あっという間にインキを硬化させるので、裏うつりもなくパウダーも不要です。もちろんそのままひっくり返して裏面を印刷したり、すぐに断裁などの後工程にとりかかたりすることができます。

また、今まで印刷できなかった厚紙や、クリアファイルなどの特殊な素材にも印刷できるようになったことで、パッケージ印刷など多様な展開への可能性が一気に広がりました。



H-UV印刷機 UVランプ



カラーバーによる濃度数値管理設備

用紙の端に印刷したカラーバーを読み取り、インキ濃度が適正かを瞬時に判定。予備紙削減、濃度安定に大きく貢献し、大幅な時短が実現しました。



KHS PDC-LITE II

紙積機

印刷業務において、1、2を争う重労働、紙積み。この設備を導入したことで、立った姿勢でスムーズに紙積みができるようになり、作業効率が格段に向上しました。



UVインキ用 特練り機





技術向上

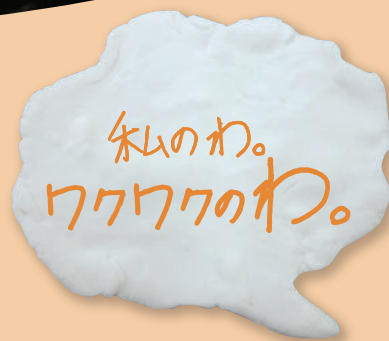
中心の軸は確かな技術。
それを守るように、育てるように、
若い世代にも受け継いでいく。
伝えていくのは仕事に対する
自信と誇り、そして責任。

技能を高めつつ、設備の充実も図る相乗効果

紙と水を使う印刷は、温度や湿度の影響を受けるため、天候一つにも品質が左右されます。そこをどんな条件の日でも安定した品質で印刷するのがオペレータの腕の見せ所でした。トヨインでは一級印刷技能士の資格を持つ管理者が、オペレータの指導にあたっています。

しかしその一方で、担当オペレータの技量やセンスによって品質が変わってしまっては困ります。トヨインでは各オペレータの技術力向上

を図るのももちろん、常に安定した高品質の印刷物を生産するための設備やシステムの整備にも力を入れています。例えば、品質検査装置や、カラーマネジメントシステム。高速で刷られていく製品すべてを厳しくチェックすることが可能になり、当社の標準濃度を設定することで常に同じ色を表現することに成功しました。これによってムラのない高品質な製品を安定してお届けできることに誇りをもっています。



新しい機械が入ることが決まった時、「自分がやりたい」と思いました。実際に印刷してみて感じたのは、印刷物が乾いて出てくるなんてすごい!ということ。油性の経験しかない自分には感激でした。

油性印刷では難しかった乾きの悪い紙や特殊素材への速乾印刷もできるので、仕事の幅が広がりました。その分毎日が勉強ですが、それ自体楽しくてワクワクします!



印刷課
加藤 詳尚



環境にやさしい印刷物を提供します。



水なし印刷を使用

菊全判 4色/4色機
(小森コーポレーション両面機)